

夏季休業を前に「ネットには危険もいっぱい」を公開！

〈2018 年度版「ネットを通じた子供の犯罪被害の防止に向けて」～警察庁・文部科学省共同作成リーフレット～〉
警察庁と文部科学省は、中高生におけるスマートフォンの保有率や SNS の利用率が高まってきていることにより、ネットを通じた子供の犯罪被害が急増していることを受け、昨年度に引き続き、2018 年版リーフレット「ネットには危険もいっぱい～他人事だと思っていない？～」を作成した。これは、7 月の「青少年の非行・被害防止全国強調月間」及び、夏季休業中のネットを通じた子供の犯罪被害の防止に資することを目的としている。

2018 年度版「ネットを通じた子供の犯罪被害の防止に向けて」概要（全日教連要約・抜粋）

〈2017 年度 SNS を通じて犯罪被害件数〉

○ 2017 年度、SNS を通じて児童ポルノや児童買春等の被害に遭った児童生徒数

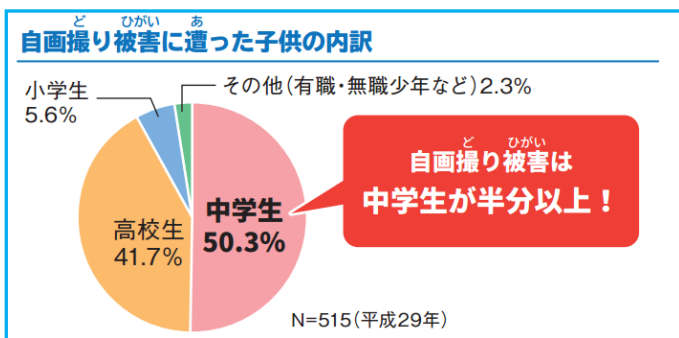
- 1,813 人（昨年度比 77 人増）
- 内訳：高校生 51.9%、中学生 37.3%、小学生 2.3%、
その他（有職・無職少年）8.5%
- [被害児童生徒が利用していたサイト]

Twitter…695 人、ひま部…181 人、
LINE…105 人、ぎやるる…97 人、
ツイキャス…52 人等

（図：リーフレットより抜粋）

○ 自画撮りによる被害（※1）の増加！

- 1,813 人のうち、515 人が自画撮りによる被害（前年度比 35 人増）
- 内訳：中学生 50.3%、高校生 41.7%、
小学生 5.6%、その他 2.3%



（※1）… 騙されたり脅されたりして子供が自分の裸等を撮影させられ上、SNS 等で送信させられる被害

〈フィルタリングの状況〉

○ 被害に遭った児童生徒のうち、90%以上がフィルタリングを利用していなかった。

※ どのような被害に遭ったのかについては、リーフレットに以下のような事例が紹介されている

【事例1】

優しい人だと思って安心していたら…

【事例2】

お金ほしさに軽い気持ちで…

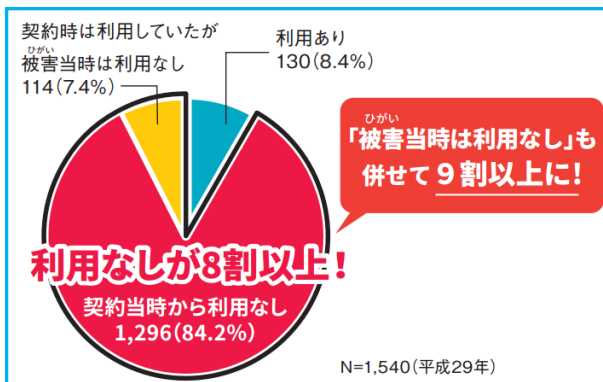
【事例3】

自撮り画像を送信してしまい…

【事例4】

気がついたら自分が加害者に…

（詳細はパンフレット参照）



本リーフレット掲載文部科学省Webページにつきましては、右のQRコード又は、下のURLからアクセスできます。

http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/ikusei/1396309.htm



本リーフレットは、ネットを通じた子供の性被害の防止に向けて、学校や関係諸機関等で広く啓発することを目的に、新たな事例や最新のデータを盛り込み作成されたものである。

全日教連は、昨年度警察庁を訪れた際、「自画撮り被害の増加を懸念している」という情報を得た。このため、第3次中央要請行動において、総務省に対し「ネットによる有害情報や犯罪・いじめ等の諸問題から子供たちを守るために、事業者・保護者に対して特に未成年者が使用する情報端末（スマートフォン等）のフィルタリングを完全義務化すること」を求めたところであるが、本リーフレットに掲載されたデータからも、犯罪被害、特に自画撮り被害が増加していることや被害に遭った児童の多くがフィルタリングを利用していなかったことが分かる。

全日教連は、SNS を通じて被害に遭うことから児童生徒を守るべく、今秋の第8次中央要請行動をはじめ、機会を捉えて総務省や警察庁等の関係諸機関に対して要望活動を実施していく。現場の会員においては、夏季休業中の犯罪被害未然防止のために、本リーフレットを積極的に活用することで、児童生徒のメディアリテラシーを向上させてほしい。